

セクション1: 化学物質特定情報および会社情報

製品特定情報

製品形態 : 混合物
製品名 : シルバーグープ

該当物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質／混合物の用途 : オイルベースのねじ部潤滑剤。業務用のみ。
使用上の制限 : 追加情報なし

安全データシートの作成者に関する詳細

会社、メーカー
株式会社 ヴィーガ・マニュファクチャリング
29495 F.A. Lennon Drive
Solon, Ohio 44139
米国
+1-440-519-4000
www.swagelok.com

緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 : Infotrac: +1-800-535-5053

セクション2: 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

GHS-JP分類

物理的危険性 : 未分類
健康に対する危険有害性 : 未分類
環境有害性 : 水生環境有害性 – 急性危険区分1
: 水生環境有害性 – 慢性危険性区分1

ラベル要素

有害性に関する絵表示 (GHS-JP) :



注意喚起語 (GHS-JP) : 警告
危険有害性情報 (GHS-JP) : 水生生物に強い毒性があり、効果が長続きする (H410)。
予防の注意書き : 環境への放出を避けること (P273)。
対応の注意書き : 漏出物を回収すること (P391)。
廃棄の注意書き : 国際／国／都道府県／市町村の規則に従って、内容物／容器を廃棄すること (P501)

その他の危険有害性

分類につながらないその他の危険有害性 : 既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合は、暴露によりこれらの疾患が悪化するおそれがある。

セクション3: 組成／成分情報

物質または混合物の識別 : 混合物

名称	別名	濃度 (%)	化学式	公報リストの参照番号		CAS番号
				CSCCL番号	ISHL番号	
シルバー	C.I. 77820 / シルバー、元素 / シルバー、金属 / CI 77820 / シルバー金属 / シルバー、金属 / ナノスケールシルバー / ナノシルバー / 金属銀 / 銀ナノ材料	25～30歳	Ag	-	-	7440-22-4
タルク (Mg ₃ H ₂ (SiO ₃) ₄)	タルク/ケイ酸マグネシウム/タルク(アスベスト繊維を含む)	2.5 – 7	H ₂ O ₃ Si ₃ /4 Mg	(1)-468	(1)-468	14807-96-6

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

	ない/タルク(アスベストを含まない)/アスベスト繊維を含まないタルク/タルク アスベスト/タルクを含まない アスベスト繊維を含まない/タルク(非アスベスト形態)/タルク(非アスベスト形態)/タルク 非線維性/タルク 非繊維性/タルク(アスベスト繊維を含まない)/非アスベストフォームタルク/タルク(アスベストを含まない)/C.I. 77718/TALC/トリマグネシウムテトラシリコンウンデカオキシド水和物/タルク 非アスベストフォーム/タルク 非繊維性/顔料白色26/ケイ酸マグネシウム、水酸化物/タルク、鉬物繊維(アスベストを含む)/アスベストフォームタルク/タルクパウダーを含まない					
酸化マグネシウム (MgO)	酸化マグネシウム / マグネシア / C.I. 77711 / 酸化マグネシウム / 焼成マグネサイト	1～5	MgO	(1)-465	(1)-465	1309-48-4
アセトン	アセトン/Propan-2-one/2-Propanone/ジメチルケトン/プロパノン	< 0.1	C ₃ H ₆ O	(2)-542	(2)-542	67-64-1

セクション4: 応急措置

応急措置の説明

- 一般的な応急措置
- : 意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合は製品のラベルを提示する)。
- 吸入した場合の応急措置
- : 症状が発生した場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合の応急措置
- : 汚染された衣類を脱ぐ。多量の水と石鹸で洗うこと。刺激/発疹が生じた場合、続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
- 眼に入った場合の応急措置
- : 直ちに水で5分以上洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。医師による手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合の応急措置
- : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師による手当てを受けること。
- 応急処置をする者の保護と対策
- : 呼吸用保護具を含む適切な保護具を着用していない者は、火災発生エリアに立ち入ってはならない。

最も重大な症状および影響(急性および遅延性)

- 症状/影響
- : 通常の使用条件下では予想されない。
- 吸入した場合の症状/影響
- : 加熱すると蒸気やミストが発生し、吸入すると吐き気、めまい、その他の上気道の炎症を引き起こす可能性があります。
- 皮膚への接触後の症状/影響
- : 皮膚への刺激のおそれ。敏感な人にアレルギー反応が出るおそれがある。
- 眼に入った場合の症状/影響
- : 眼への刺激のおそれ。
- 飲み込んだ場合の症状/影響
- : 飲み込むと有害な影響を及ぼすおそれがある。
- 慢性症状
- : 複数の暴露経路による銀への長期かつ過度の暴露は、皮膚、眼、粘膜の青灰色の変色を引き起こす状態であるアーガリアを引き起こすおそれがある。長時間暴露すると、夜間視力が低下するおそれがある。

医師による即時の手当ておよび特別な治療の適応となる症状

ばく露した場合やばく露が懸念される場合には、医師の診察、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合は、製品の容器やラベルを持参すること。

セクション5: 火災時の措置

消火剤

- 適切な消火媒体
- : 水噴霧、水霧、二酸化炭素(CO₂)、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤。

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

不適切な消火媒体	: 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。
物質または混合物に由来する特別な危険有害性	
火災危険性	: 可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。
爆発危険性	: 本製品には爆発性はない。
反応性	: 通常の条件下では有害な反応は発生しない。
消火時の注意事項	
火災に関する予防措置	: 化学物質による火災の消火は慎重に行う。
消火時の指示	: 露出した容器の冷却には水噴霧または水霧を使用する。
消火時の防護	: 呼吸用保護具を含む適切な保護具を着用していない者は、火災発生エリアに立ち入ってはならない。
有害燃焼生成物	: 酸化金属。炭素酸化物(CO、CO ₂)。窒素酸化物。
その他の情報	: 消火活動の際の流出物が排水設備や水路に入らないようにすること。

セクション6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	
一般的な措置	: 蒸気、ミスト、噴霧を吸引しないこと。眼に入ること、皮膚、衣類への接触は避けること。水生環境に有害な物質である。下水と排水溝への流入を防止すること。
二次災害の防止策	: 当該領域の換気を行う。発火源を除去する。
緊急救援隊以外の人員	
保護具	: 適切な個人用保護具(PPE)を使用する。
緊急措置	: 不必要な人員を退避させる。
緊急対応にあたる人員	
保護具	: 浄化担当スタッフに適切な保護具を着用させる。
緊急措置	: 現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分自身や人々の身の安全やその付近の安全を図り、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。当該領域の換気を行う。

環境に関する注意事項	
下水および公共用水への流入を防止する。環境への放出を避けること。漏出物を回収すること。	
封じ込めおよび浄化の方法・資材	
封じ込め	: 漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や水路への流入を防止する。
浄化方法	: 漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

他のセクションの参照事項	
暴露防止と保護措置についてはセクション8を、廃棄上の注意についてはセクション13を参照すること	

セクション7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項	
技術的対策	: 製品の使用エリアでは飲食や喫煙をしないこと。
安全な取扱いに関する注意事項	: 皮膚、眼、衣類との接触は避ける。飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹸と水で洗浄する。煙、蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないこと。
混触危険物質や混合物の取扱いを防止	: 直射日光を含む熱源を避けてください。
衛生対策	: 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。
局所および一般的な換気	: 十分な換気を確保する。
安全な保管の条件(混触危険性を含む)	
技術的対策	: 適用される規則を遵守する。
保管条件	: 使用していない場合は、容器を閉めておく。乾燥した涼しい場所に保管すること。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて維持／保管すること。安全な場所に施錠して保管すること。
混触危険物質	: 強酸、強塩基、強酸化剤。アセチレン。
容器包装材料	: 元の容器で保管すること。

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

特定の最終用途

オイルベースのねじ部潤滑剤。業務用のみ。

セクション8:ばく露防止および保護措置

管理基準

シルバー(7440-22-4)		
日本	暴露限界 (JSOH)	0.01mg/m3 (Agとして)
USA ACGIH	ACGIH OEL TWA	0.1 mg/m3 (粉塵および煙)
タルク(Mg3H2(SiO3)4) (14807-96-6)		
日本	暴露限界 (JSOH)	[粉塵の業務上暴露限界](クラス1) 吸入性粉塵 0.5 mg/m3 粉塵総量 2 mg/m3
日本	推奨暴露限界 - 発がん性クラス	グループ1 - アスベスト繊維を含むヒトへの発がん性 アスベスト繊維を含むタルク
日本	推奨暴露限界 - TWA	1 mg/m³ OEL吸入性粒子状物質 アスベスト繊維および結晶シリカ不使用、4 mg/m³ OEL全粒子状物質 アスベスト繊維および結晶シリカ不使用
USA ACGIH	ACGIH OEL TWA	2 mg/m3 (アスベストを含まない粒子状物質、<1%結晶シリカ、吸入性粒子状物質)
米国 ACGIH	ACGIH化学物質カテゴリ	アスベスト繊維を含まないヒト発がん性物質として分類できない
酸化マグネシウム(MgO) (1309-48-4)		
USA ACGIH	ACGIH OEL TWA	10 mg/m3 (吸入性粒子状物質)
USA ACGIH	ACGIH化学物質カテゴリ	ヒト発がん性物質としては分類不能
アセトン(67-64-1)		
日本	日本の行政基準	500ppm
日本	暴露限界 (JSOH)	200ppm (470mg/m3)
日本	推奨暴露限界 - TWA	475mg/m³³
米国 ACGIH	ACGIH OEL TWA [ppm]	250 ppm
米国 ACGIH	ACGIH OEL STEL [ppm]	500 ppm
米国 ACGIH	ACGIH化学物質カテゴリ	ヒト発がん性物質としては分類不能

生物学的限界

アセトン(67-64-1)		
日本	推奨暴露制限値 - 生物学的モニタリング	40 mg/l シフト終了前2時間以内の尿
ACGIH	BEI (BLV)	25 mg/l パラメータ: アセトン - 媒体: 尿 - サンプルング時間: シフト終了時 (非特異的)

暴露防止

適切な工学的管理	: 暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。特に狭いエリアでは、十分な換気を確保すること。国／地方公共団体の規則を確実に遵守する。
個人用保護具	: 手袋。保護衣。保護ゴーグルまたは保護眼鏡
保護衣の素材	: 耐化学物質性の素材および繊維
手の保護	: 保護手袋を着用すること。
眼および顔面の保護	: 化学薬品対応の安全ゴーグルまたはサイドシールド付き安全眼鏡。
皮膚および身体の保護	: 適切な保護衣を着用すること。



シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

呼吸器系の保護	: 暴露限界値を超えるか、呼吸器への刺激が発生した場合は、認証済みの呼吸用保護具を着用する必要がある。換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証済みの呼吸用保護具を着用すること。
熱危険性の防護	: 追加情報なし
その他の情報	: 本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション9: 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的性質に関する情報

物理的状态	: 液体
外観	: シルバー
臭い	: 中性
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
蒸発速度	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 230°C(密閉カップ法)
自然発火温度	: 該当なし
分解温度	: データなし
燃焼性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(@ 20°C)	: データなし
密度	: データなし
相対密度	: データなし
溶解度	: 不溶解性。
分配係数: N-オクタノール/水	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
爆発限界	: データなし
粒子特性	: データなし

その他の情報

揮発性有機化合物含量	: < 1%
------------	--------

セクション10: 安定性および反応性

反応性

通常の条件下では有害な反応は発生しない。

化学的安定性

推奨される取扱いおよび保管条件下にある場合は安定(セクション7を参照)。

有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化剤 アセチレン。

危険有害な分解生成物

熱分解により、以下を生成する場合がある: 金属酸化物。炭素および窒素酸化物。

セクション11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

考えられる暴露経路	: 経皮、眼への接触、吸入、経口
潜在的なヒトの健康に対する有害作用および症状	: 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

急性毒性(経口)	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
急性毒性(経皮)	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
急性毒性(吸入)	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
シルバー(7440-22-4)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg (出典: NLM_HSDB)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (出典: EU_CLH)
LC50 吸入 ラット	> 5.16 mg/l/4時間
酸化マグネシウム(MgO) (1309-48-4)	
LD50 経口 ラット	3870 mg/kg (出典: NLM_HSDB)
アセトン(67-64-1)	
LD50 経口 ラット	5800 mg/kg (種類: Sprague-Dawley)
LD50 経皮 ウサギ	7400 mg/kg
LC50 吸入 ラット	44g/m3
皮膚腐食性／刺激性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
呼吸器感受性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
皮膚感受性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
生殖細胞変異原性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
発がん性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
タルク(Mg ₃ H ₂ (SiO ₃) ₄) (14807-96-6)	
IARCグループ	3
国家毒性プログラム(NTP)ステータス	1
生殖毒性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
STOT－単回暴露	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
特定標的臓器毒性(STOT)－反復暴露	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
吸引性呼吸器有害性	: 未分類。利用可能な試験データに基づく、分類基準を満たしていない。
その他の情報	: 追加情報なし

セクション12: 環境影響情報

毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	: 水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性、長期(慢性)	: 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。
シルバー(7440-22-4)	
LC50 魚類 1	0.00155 (0.00155 – 0.00293) mg/l (暴露時間: 96 時間 - 種類: ピメファレスプロメラ [静止])
EC50 - 甲殻類[1]	0.00024 mg/l (暴露時間: 48時間 - 種類: オオミジンコ [静止])
LC50 魚類 2	0.0062 mg/l (暴露時間: 96時間 - 種類: ミクス菌 [フロースルー] 出典: EPA)
タルク(Mg ₃ H ₂ (SiO ₃) ₄) (14807-96-6)	
LC50 魚類 1	> 100 g/l (暴露時間: 96 時間 - 種類: プラキダニオ リリオ [半静止])
アセトン(67-64-1)	
LC50 魚類 1	4144.846 mg/l (暴露時間: 96時間 - 種類: ニジマス)
EC50 - 甲殻類[1]	1679.66 mg/l (暴露時間: 48時間 - 種類: オオミジンコ [静止])
LC50 魚類 2	6210 (6210 – 8120) mg/l (暴露時間: 96時間 - 種類: Pimephales promelas [static])
EC50 - 甲殻類 [2]	12600 (12600 – 12700) mg/l (暴露時間: 48時間 - 種類: オオミジンコ)

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

残留性および分解性	
シルバー・グープ	
残留性および分解性	水域環境で長期的な悪影響を与えるおそれがある。
アセトン(67-64-1)	
残留性および分解性	水中で容易に生分解可能。
生物蓄積性の可能性	
シルバー・グープ	
生物蓄積性の可能性	金属の生体内蓄積は除外できない。
タルク(Mg ₃ H ₂ (SiO ₃) ₄) (14807-96-6)	
BCF 魚類 1	(既知の生体内蓄積なし)
アセトン(67-64-1)	
BCF 魚類 1	(0.69インチ、寸法なし)
分配係数 n-オクタノール/水(Log Pow)	-0.24
土壌中の移動性	
シルバー・グープ	
生態系 - 土壌	データなし。

その他の有害な影響	
その他の有害な影響	: 知見なし。
オゾン層への有害性	: 区分に該当しない。
その他の情報	: 環境への放出を避けること。

セクション13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
地域廃棄物規制	: 正式な規制に従い廃棄しなければならない。
廃棄物処理方法	: 可能であれば、材料はリサイクルする必要があります。
下水への廃棄に関する勧告	: 下水へ廃棄物を流さないこと。
推奨される廃棄方法	: 内容物／容器は国際／国／都道府県／市区町村の規則に従って廃棄すること。
その他の情報	: 空にした容器が有害である可能性あり。すべての使用上の注意に従うこと。
生態系 - 廃棄物質	: 環境への放出を避けること。本物質は水生環境に有害な物質である。下水と排水溝への流入を防止すること。

セクション14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDSの起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDSが発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

UNRTDGに準拠	
国連正式輸送品名	: 環境有害物質、液体、その他(銀を含む)
梱包・包装等級	: III
ID番号	: 3082
危険等級	: 9
ラベルコード	: 9
海洋汚染物質	: 海洋汚染物質
IATAに準拠	
国連正式輸送品名	: 特に指定のない限り、環境有害物質、液体 (銀を含む)
梱包・包装等級	: III
ID番号	: UN3082
危険等級	: 9
ラベルコード	: 9
ERGコード(IATA)	: 9L
IMDG/IMOに準拠	
国連正式輸送品名	: 環境有害物質、液体、その他(銀を含む)



シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

危険等級	: 9	
ID番号	: UN3082	
梱包・包装等級	: III	
ラベルコード	: 9	
EmS-No.(火災)	: F-A	
EmS-No.(漏出)	: S-F	
海洋汚染物質	: 海洋汚染物質	
MFAG番号	: 171	

MARPOL条約の付属書類ⅡおよびIBC Codeに従うばら積み輸送

該当なし

その他の情報

船舶安全法	: 船舶安全法の規定を遵守。
航空法	: 航空法の規定を遵守。
その他の情報	: 補足情報なし

セクション15:適用法令

適用法令

シルバー(7440-22-4)	
労働安全衛生法	ラベルに表示すべき有害物質(同法第57条第1項、施行令第18条第1項、第2項、付表No.9) 届出対象物質(同法第57条の2、施行令第18条の2第1項第2号、付表第9号) 銀およびその水溶性化合物(政令番号:137)()
大気汚染防止法	有害大気汚染物質(中央環境審議会報告書No. 9)
日本の環境汚染物質排出移動登録制度(PRTR制度)	等級1指定化学物質(同法第2条第2項、施行令第1条別表第1号) 銀及びその水溶性化合物(政令番号:82)銀(100%)
規制参考情報 米国有害物質規制法(TSCA)インベントリーに収載 - ステータス:EECインベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー) に収載されている カナダのDSL(国内物質リスト)にアクティブに収載 カナダのIDL(成分開示リスト)に 収載米国SARA第313条 オーストラリア工業化学物質導入スキーム(AICISインベントリー)に 収載されているPICCS(フィリピンの化学物質および化学物質インベントリー)に 収 載されている日本のENCS(既存および新規化学物質)インベントリーに 収載されているKECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に 収載されているIECSC(中国で生産または輸入されている既存化学物質のインベントリー)に収載されている 日本の汚染物質の放出および輸送登録法(PRTR法)に 収載されているオーストラリア工業化学物質導入スキーム(AICISインベントリー)の報告要件 の対象	
タルク(Mg ₃ H ₂ (SiO ₃) ₄) (14807-96-6)	
労働安全衛生法	【2025年4月改正後】 化学物質名などのラベル表示のための危険または有害な物質(同法第57条第1項、施行令、第18条第1号及び第2号、別表第9号) 【2025年4月改正後】 化学物質名等をSDSで通知すべき危険物及び有害物(同法第57条の2、施行令第18条の2第1号及び第2号、別表第9)
外国為替および外国貿易法	輸出貿易管理令付録1第16項
規制参考情報	

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

米国有害物質規制法(TSCA)インベントリーに収載 - ステータス: アクティブ カナダDSL(国内物質リスト)に記載 EECインベントリーEINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に記載 オーストラリア産業化学品導入スキーム(AICISインベントリー)の紹介 PICCS(フィリピン化学品・化学物質インベントリー)に記載 日本のENCS(既存および新規化学物質)インベントリーに記載 KECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に記載 IECSC(中国で製造または輸入された既存化学物質の目録)に記載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に記載 日本のISHL(労働安全衛生法)に記載 INSQ(メキシコ化学物質インベントリー)に記載 TCSI(台湾化学物質インベントリー)に記載 NCI(ベトナム - 国家化学物質インベントリー)に記載 タイ既存化学物質インベントリー(DIW)に記載	
酸化マグネシウム(MgO) (1309-48-4)	
労働安全衛生法	【2026年4月改正後】 化学物質名等を表示すべき危険物及び有害物(同法第57条第1項、施行令、第18条第1号及び第2号、別表第9号) 【2026年4月改正後】 化学物質名等をSDSで通知すべき危険物及び有害物(同法第57条の2、施行令第18条の2第1号及び第2号、別表第9)
規制参考情報 米国有害物質規制法(TSCA)インベントリーに収載 - ステータス: 有効 カナダDSL(国内物質リスト)に収載 EECインベントリーEINECS(欧州現有商業化学物質インベントリー)に収載 カナダIDL(成分開示リスト)に収載 オーストラリア工業化学物質導入スキーム(AICISインベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品・化学物質インベントリー)に収載 日本のENCS(既存・新規化学物質)インベントリーに収載 KECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に収載 IECSC(中国で生産または輸入されている既存化学物質インベントリー)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 日本のISHL(労働安全衛生法)に収載 INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載 TCSI(台湾化学物質インベントリー)に収載 NCI(ベトナム - 国家化学品インベントリー)に収載 タイ既存化学物質インベントリー(DIW)に収載	
アセトン(67-64-1)	
労働安全衛生法	第2類有機溶媒など(施行令第6条の2、有機溶媒中毒予防規則第1条第1項第4号) 作業環境評価基準、管理統制レベル(同法第65条第2項、第1項) ラベルに表示すべき有害物質(同法第57条第1項、施行令第18条第1項、第2項、付表No.9) 危険物質 - 引火性物質(施行令付表1、項目4) 届出対象物質(同法第57条の2、施行令第18条の2第1項第2号、付表第9号) アセトン(政令番号: 17) () 特別検査物質、現行取扱労働者(同法第66条第2項、施行令第22条第1項)
麻薬・向精神薬取締法	原材料(同法第2条(7)、付表第4条)
消防法	第4類 - 引火性液体 - 第1石油類 - 水溶性(同法第2条第7項、別表第1、第4類)
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(同法第2条第4項)(都道府県への環境省公式通知)

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律	引火性物質(同法第3条、(6)-2、施行令、第1条第7項、付表No.1-4) 有毒液体物質 - 区分Z(同法第3(3)項、施行令第1条第2項、付表第1号第3号)
外国為替および外国貿易法	項目2の承認(輸入貿易管理令、第4条第1項、項目2) 輸出貿易管理令別表第1の第16項 輸出許可(輸出貿易管理令、別表第2)
船舶安全法	引火性液体
航空法	引火性液体
港則法	引火性液体
道路法	自動車交通規制(施行令第19条の13、日本道路公団出版)
特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律(バーゼル条約)	特定有害廃棄物(同法第2条第1項第1号(イ)、2018年6月18日省令第12号)
労働基準法	職業性疾病の原因となる化学物質(同法第75条、第2項、法令付表1-2、項目4-1、厚生労働省告示1978年36号)
規制参考情報 米国有害物質規制法(TSCA)インベントリーに収載 - ステータス:EECインベントリーEINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー) に収載されている カナダのDSL(国内物質リスト)にアクティブに収載 カナダのIDL(成分開示リスト)に 収載されているオーストラリアの工業化学物質導入スキーム(AICISインベントリー)に収載されているPICCS(フィリピンの化学物質および化学物質インベントリー)に 収載 されている日本のENCs(既存および新規化学物質インベントリー)に 収載されているKECL/KECI(韓国の既存化学物質インベントリー)に 収載されているIECSC(中国で生産または輸入された既存化学物質のインベントリー) に収載されているNZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に 収載されているINSQMexican(Industrial Safety and Health Law)に 収載されている	

セクション16:その他の情報

作成日または最新改訂日	: 2024/05/15
参考文献	: 本書は日本の危険有害性周知基準である安全データシート(SDS)の要件JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準じて作成された。

データソース略語の用語集

ATSDR: 有害物質・疾病登録庁(米国保健福祉省)	FOOD_JOURN: Food Research Journal(1956年)
AU_WES: オーストラリアWES	IARC: 国際がん研究機関
CHEMVIEW: ChemView(米国環境保護庁)	IDLH: 米国国立労働安全衛生研究所の急性の毒性限度(「生命または健康に対する差し迫った危険」の値プロファイル)
EC_RAR: 欧州委員会更新評価報告書	IUCLID: 国際統一化学情報データベース
EC_SCOEL: 欧州委員会職業暴露限界に関する科学委員会	JAPAN_GHS: 分類データに関する日本のGHS基準
ECETOC: 欧州化学物質生態毒性・毒性センター	JP_J-CHECK: 日本 J-Check
ECHA_API: 欧州化学品庁API	KR_NIER: 韓国国立環境科学院の評価
ECHA_RAC: ECHAリスク評価委員会	NICNAS: オーストラリア国家工業化学品届出審査機構
EFSA: 欧州食品安全機関	NIOSH: 米国労働安全衛生研究所(米国保健福祉省)
EPA: 米国環境保護庁	NLM_CIP: 米国国立医学図書館ChemIDplusデータベース
EPA_AEGL: 急性暴露ガイドラインレベル(米国環境保護庁)	NLM_HSDB: 米国国立医学図書館有害物質データベース
EPA_FIFRA: 連邦殺虫剤・殺菌剤・殺鼠剤法再登録資格決定(米国環境保護庁)	NLM_PUBMED: 米国国立医学図書館PubMedデータベース
EPA_HPV: 大量生産化学物質(米国環境保護庁)	NTP: 国家毒性プログラム
EPA_TRED: 許容度再評価の適格性判断に関するリスク評価(米国環境保護庁)	NZ_CCID: ニュージーランド化学物質分類および情報データベース
EU_CLH: 欧州連合調和分類およびラベリング提案	OECD_EHSP: 環境・健康・安全に関する出版物(経済協力開発機構)
EU_RAR: 欧州連合リスク評価書	OECD_SIDS: スクリーニング情報データセット(経済協力開発機構)
	WHO: 世界保健機関

シルバー・グープ

安全データシート

JIS Z 7253およびJIS Z 7252に準拠

本情報は現有知識をもとにしており、健康、安全、環境面での要件のみを目的に製品の特徴を記載したものである。よって、製品の個別の特性を保証すると解釈されることがあってはならない。

日本 GHS SDS